

ワールド・ウォーター・ファンド Aコース／Bコース

追加型投信／内外／株式

交付運用報告書

第17期(決算日2021年4月12日)

作成対象期間(2020年4月11日～2021年4月12日)

<Aコース>

| 第17期末(2021年4月12日) | |
|-------------------|----------|
| 基準価額 | 25,985円 |
| 純資産総額 | 3,251百万円 |
| 第17期 | |
| 騰落率 | 40.2% |
| 分配金(税込み)合計 | 1,200円 |

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

<Bコース>

| 第17期末(2021年4月12日) | |
|-------------------|----------|
| 基準価額 | 29,769円 |
| 純資産総額 | 9,211百万円 |
| 第17期 | |
| 騰落率 | 45.4% |
| 分配金(税込み)合計 | 1,200円 |

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として世界の水関連企業の株式に実質的に投資を行い、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。

ここに、当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供することができる旨を定めております。運用報告書(全体版)は、野村アセットマネジメントのホームページで閲覧・ダウンロードしていただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記ホームページを開く

⇒「ファンド検索」にファンド名を入力しファンドを選択

⇒ファンド詳細ページから「運用報告書(全体版)」を選択

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号



サポートダイヤル 0120-753104

〈受付時間〉営業日の午前9時～午後5時

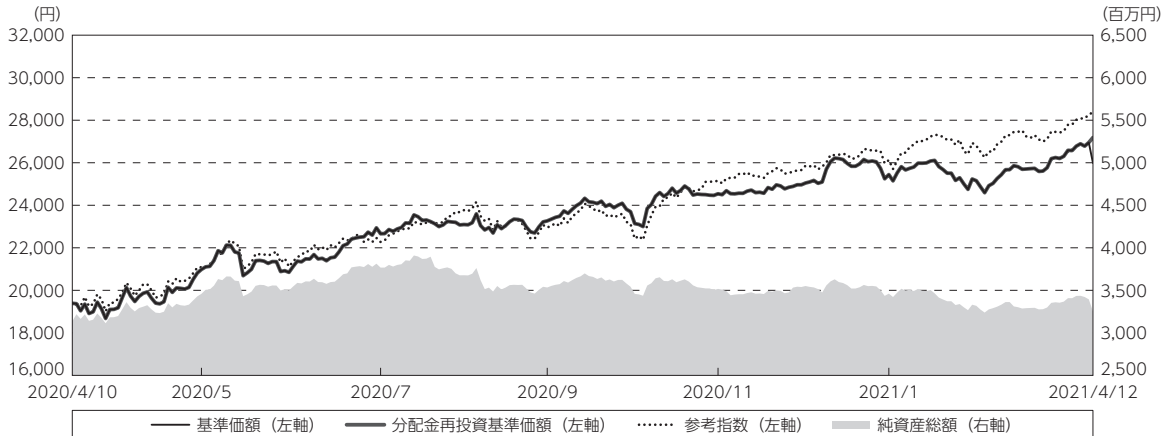
ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

<Aコース>

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2020年4月11日～2021年4月12日)



期首：19,390円

期末：25,985円 (既払分配金 (税込み) : 1,200円)

騰落率： 40.2% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首 (2020年4月10日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、MSCI ワールド インデックス フリー (円ヘッジベース) です。詳細は4ページをご参照ください。参考指数は、作成期首 (2020年4月10日) の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首19,390円から期末25,985円となりました。

(上昇)

- 2020年4月、欧米の一部地域で新型コロナウイルスの感染拡大ペースに減速が見られたことや、米連邦準備制度理事会 (FRB) による2兆3,000億ドル規模の支援策、トランプ米大統領が経済活動の再開に向けた指針を示したこと
- 8月、新型コロナウイルスのワクチン開発や米国の追加経済対策への期待、企業決算が全体的に予想を上回ったこと、ユーロ圏の景気指標や米国の住宅販売関連などの経済指標の改善、ドイツ政府による追加景気対策が公表されたこと
- 11月、米大統領選挙で民主党バイデン候補の勝利がほぼ確実となるなど米国の選挙に関する不透明感が後退したことや選挙後の大規模な景気刺激策実施への期待、相次いで新型コロナウイルスワクチンの良好な治験結果が発表されたこと
- 2021年1月から3月、米上院でも民主党が過半数を獲得したバイデン政権による大規模経済対策への期待や良好な企業決算であったこと

(下落)

- ・2020年10月、米国の新規失業保険申請件数やドイツの景気期待指数などの予想外の悪化、欧州や米国における新型コロナウイルスの感染再拡大への懸念、米国大統領選挙を控え先行き不透明感が高まったこと

1万口当たりの費用明細

(2020年4月11日～2021年4月12日)

| 項 目 | 当 期 | | 項 目 の 概 要 |
|-----------------------|----------|------------|--|
| | 金 額 | 比 率 | |
| (a) 信託報酬 | 円 440 | % 1.880 | (a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 |
| (投信会社) | (233) | (0.995) | ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等 |
| (販売会社) | (181) | (0.774) | 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等 |
| (受託会社) | (26) | (0.111) | ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等 |
| (b) 売買委託手数料 | 7 | 0.030 | (b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| (株式) | (7) | (0.030) | |
| (c) 有価証券取引税 | 4 | 0.016 | (c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| (株式) | (4) | (0.016) | |
| (d) その他費用 | 10 | 0.043 | (d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 |
| (保管費用) | (9) | (0.037) | 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 |
| (監査費用) | (1) | (0.003) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 |
| (その他) | (1) | (0.002) | 信託事務の処理に要するその他の諸費用 |
| 合 計 | 461 | 1.969 | |
| 期中の平均基準価額は、23,386円です。 | | | |

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

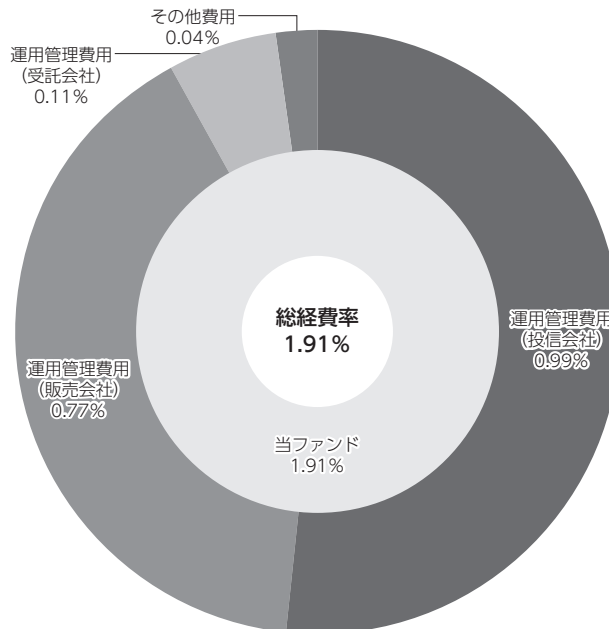
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.91%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

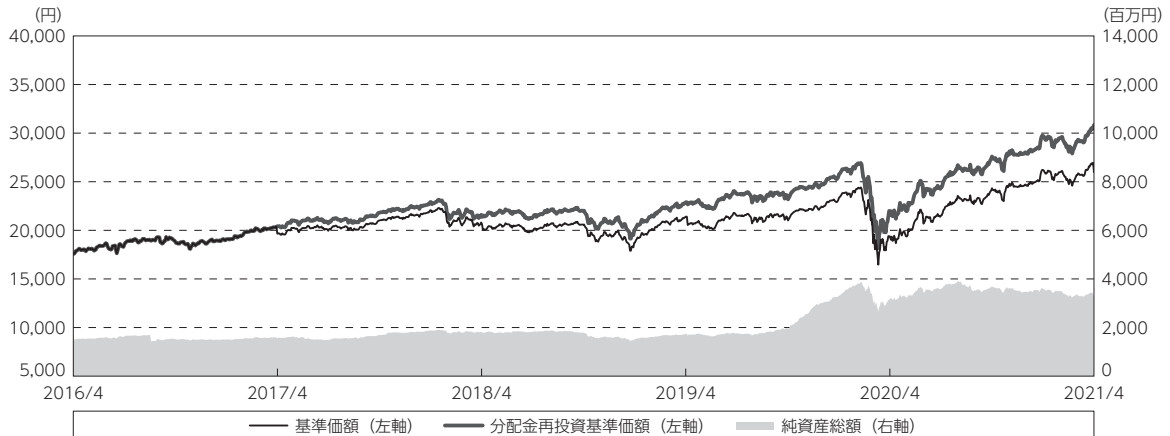
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2016年4月11日～2021年4月12日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。2016年4月11日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

| | 2016年4月11日 決算日 | 2017年4月10日 決算日 | 2018年4月10日 決算日 | 2019年4月10日 決算日 | 2020年4月10日 決算日 | 2021年4月12日 決算日 |
|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 基準価額 (円) | 17,578 | 19,664 | 20,019 | 20,542 | 19,390 | 25,985 |
| 期間分配金合計(税込み) (円) | — | 750 | 600 | 650 | 550 | 1,200 |
| 分配金再投資基準価額騰落率 (%) | — | 16.1 | 4.9 | 5.9 | △ 2.9 | 40.2 |
| 参考指数騰落率 (%) | — | 17.7 | 9.1 | 7.3 | △ 6.6 | 46.4 |
| 純資産総額 (百万円) | 1,470 | 1,543 | 1,758 | 1,664 | 3,137 | 3,251 |

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

*参考指数 (=MSCI ワールド インデックス フリー (円ヘッジベース)) は、MSCI World Index Free (現地通貨ベース) をもとに、当社が独自にヘッジコストを考慮して、円換算したものです。

*MSCI World Index Free (現地通貨ベース) は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(出所：MSCI、ブルームバーグ)

投資環境

(2020年4月11日～2021年4月12日)

世界株式市場は、新型コロナウイルスのワクチン開発および接種の開始、米国の追加経済対策への期待などを受け、期を通じて上昇しました。

為替市場は、米ドル円、ユーロ円ともに上昇（円安）しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2020年4月11日～2021年4月12日)

【ワールド・ウォーター・ファンド Aコース】は、主要投資対象である【ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド】受益証券を高位に組み入れました。

【ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド】

・株式組入比率

期を通じておおむね高位を維持しました。

・期中の主な動き

- (1) 世界の水関連企業の株式を主体に投資を行なうことを基本としました。
- (2) 銘柄選定にあたっては、上記の投資対象企業の中から、高い成長が期待される企業、または安定した収益が期待される企業の株式を、ボトムアップの観点で調査・分析し、バリュエーション（投資価値評価）を勘案して、投資銘柄を選定しました。
- (3) セクター、地域別では、
 - ① 「装置製造・エンジニアリングセクター」と「上下水道ビジネスセクター」を中心に投資しました。
 - ② 「装置製造・エンジニアリングセクター」については、バリュエーションの観点から割高な銘柄を売却した一方で、継続的な利益成長が期待できる企業に投資しました。
 - ③ 「上下水道ビジネスセクター」では、新興国に関連する銘柄の組み入れを引き下げました。
 - ④ 住居や商業施設向けにプールやスパ関連事業を手がける米国のレスリーズの株式を組み入れたほか、流体・計量技術メーカーである米国のアイデックスの株式を買い増しました。一方で、医療・エンジン用分析計測機器や半導体検査装置の製造・販売を行なう日本の堀場製作所などの株式を全売却したほか、医療・商工業関連の専門器具メーカーである米国のダナハーなどの株式を一部売却しました。

【ワールド・ウォーター・ファンド Aコース】

・株式組入比率

実質株式組入比率は、期を通じておおむね高位を維持しました。

・為替ヘッジ

当ファンドの運用の基本方針に従い、実質外貨建て資産に対して対円での為替ヘッジを行ない、為替変動リスクの低減を図りました。

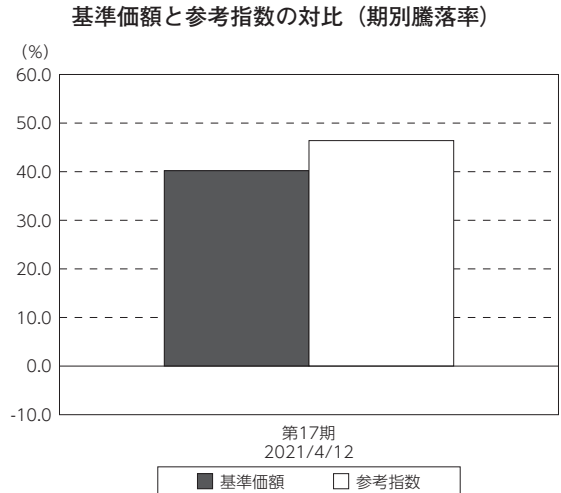
当ファンドのベンチマークとの差異

(2020年4月11日～2021年4月12日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているMSCI ワールド インデックス フリー (円ヘッジベース) の46.4%の上昇に対し、基準価額は40.2%の上昇となりました。当ファンドは、世界の水関連企業の株式を主体に投資を行っており、投資している業種や銘柄には特色があります。このためMSCI ワールド インデックス フリー (円ヘッジベース) とは異なった動きをしております。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、MSCI ワールド インデックス フリー (円ヘッジベース) です。

分配金

(2020年4月11日～2021年4月12日)

基準価額水準などを勘案し、Aコースで1万口当たり1,200円の収益分配を行ないました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税込み)

| 項目 | 第17期 | |
|-----------|-----------------------|--|
| | 2020年4月11日～2021年4月12日 | |
| 当期分配金 | 1,200 | |
| (対基準価額比率) | 4.414% | |
| 当期の収益 | 1,200 | |
| 当期の収益以外 | - | |
| 翌期繰越分配対象額 | 15,984 | |

(注) 対基準価額比率は当期分配金 (税込み) の期末基準価額 (分配金込み) に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

[ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド]

2021年の見通しについては、新型コロナワクチン接種の進展に伴う経済活動の再開期待等の高まりを受け、世界的に購買担当者景気指数（PMI）が堅調に推移するなど企業の景況感の改善が見られ、明るい見通しが広がっています。一方で、追加の経済対策や各国中央銀行による金融政策の規模や時期に関する不透明感が懸念要因になっていくと考えています。加えて、株式と債券の利回り格差が縮小するなど、力強い景気回復とインフレが示唆されており、株式のバリュエーション（投資価値評価）にも大きく影響を及ぼすであろう、米国の連邦準備制度理事会による市場支援策縮小や利上げに踏み切るタイミングを見極める必要があると考えます。

水関連インフラへの投資は必要不可欠であり、中長期的に見ると、世界的に事業展開を行なう水関連銘柄のファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）は堅調であると考えます。温暖化の影響から世界的な気候変動によって引き起こされる干ばつや洪水の問題なども、水関連インフラへの投資を呼び起こしています。中長期的に水関連銘柄は引き続き魅力的な投資対象であると考えます。

こうした環境の中、個別銘柄の選択に重点をおいた運用を継続します。足元の市場のボラティリティ（価格変動性）の高まりは個別銘柄のミスプライス（誤った値付け）をもたらし、魅力的な投資機会を与えるものと考えます。引き続き装置製造・エンジニアリングセクターと上下水道ビジネスセクターを中心としたバーベル型の運用を行なっていきます。

[ワールド・ウォーター・ファンド Aコース]

主要投資対象である [ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産については為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを目指します。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしく願いいたします。

お知らせ

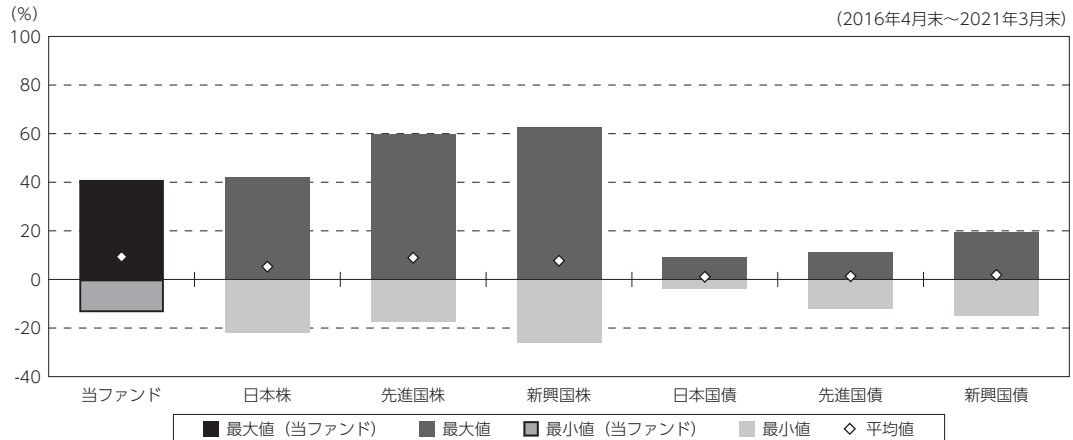
該当事項はございません。

当ファンドの概要

| | | |
|--------|--|--|
| 商品分類 | 追加型投信／内外／株式 | |
| 信託期間 | 2004年3月26日から2024年4月10日までです。 | |
| 運用方針 | <p>信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。 実質的な株式の投資にあたっては、世界の水関連企業の株式を主体に、空気関連企業の株式も加えて投資を行うことを基本とします。 銘柄選定にあたっては、これらの投資対象企業の中から、高い成長が期待される企業、または安定した収益が期待される企業の株式を、ボトムアップの観点で調査・分析し、バリュエーションを勘案して投資銘柄を選定します。 株式の実質組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。 実質組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを目指します。</p> | |
| 主要投資対象 | ワールド・ウォーター・ファンド A コース | ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。 なお、株式等に直接投資する場合があります。 |
| | ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド | 世界の株式を主要投資対象とします。 |
| 運用方法 | ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として世界の水関連企業の株式に実質的に投資を行い、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。 | |
| 分配方針 | 毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益等から、基準価額の水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。 | |

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

| | 当ファンド | 日本株 | 先進国株 | 新興国株 | 日本国債 | 先進国債 | 新興国債 |
|-----|--------|--------|--------|--------|-------|--------|--------|
| 最大値 | 40.9 | 42.1 | 59.8 | 62.7 | 9.3 | 11.4 | 19.3 |
| 最小値 | △ 13.5 | △ 22.0 | △ 17.5 | △ 26.3 | △ 4.0 | △ 12.3 | △ 15.0 |
| 平均値 | 9.3 | 5.2 | 8.9 | 7.7 | 1.1 | 1.3 | 1.9 |

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2016年4月から2021年3月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《代表的な資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI-KOKUSAI 指数 (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

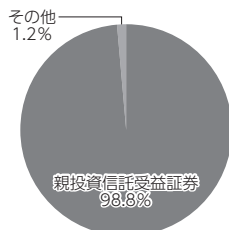
組入資産の内容

(2021年4月12日現在)

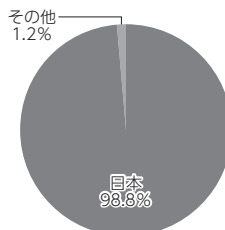
○組入上位ファンド

| 銘柄名 | 第17期末 |
|-------------------------|-------|
| ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド | 98.8% |
| 組入銘柄数 | 1銘柄 |

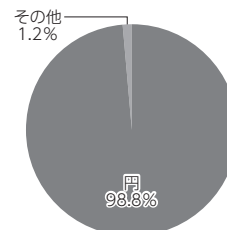
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注) 国別配分は、原則として発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等は、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

| 項目 | 第17期末 |
|------------|----------------|
| | 2021年4月12日 |
| 純資産総額 | 3,251,723,270円 |
| 受益権総口数 | 1,251,407,007口 |
| 1万口当たり基準価額 | 25,985円 |

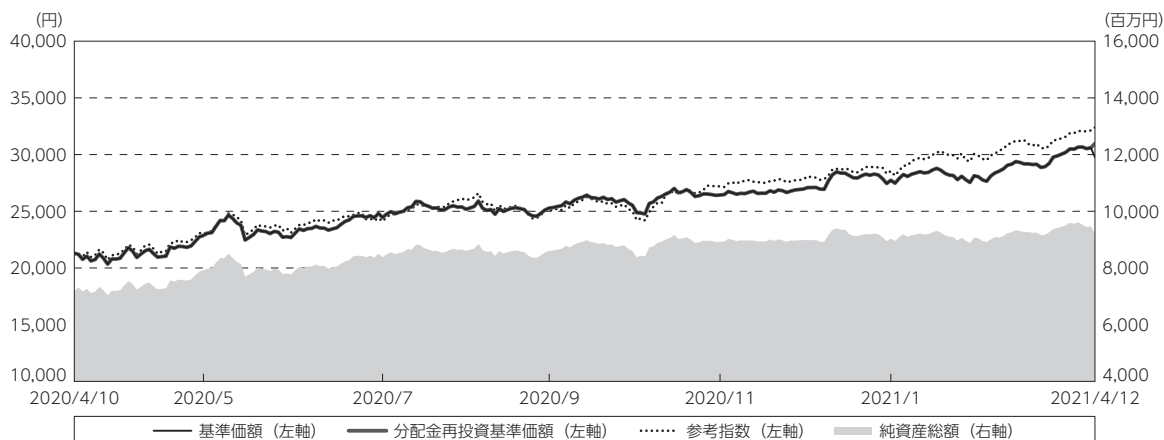
(注) 期中における追加設定元本額は211,440,691円、同解約元本額は577,936,532円です。

<Bコース>

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2020年4月11日～2021年4月12日)



期首：21,293円

期末：29,769円 (既払分配金 (税込み) : 1,200円)

騰落率： 45.4% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首 (2020年4月10日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 参考指数は、MSCI ワールド インデックス フリー (円換算ベース) です。詳細は14ページをご参照ください。参考指数は、作成期首 (2020年4月10日) の値が基準価額と同一となるように計算しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首21,293円から期末29,769円となりました。

(上昇)

- 2020年4月、欧米の一部地域で新型コロナウイルスの感染拡大ペースに減速が見られたことや、米連邦準備制度理事会 (FRB) による2兆3,000億ドル規模の支援策、トランプ米大統領が経済活動の再開に向けた指針を示したこと
- 8月、新型コロナウイルスのワクチン開発や米国の追加経済対策への期待、企業決算が全体的に予想を上回ったこと、ユーロ圏の景気指標や米国の住宅販売関連などの経済指標の改善、ドイツ政府による追加景気対策が公表されたこと
- 11月、米大統領選挙で民主党バイデン候補の勝利がほぼ確実となるなど米国の選挙に関する不透明感が後退したことや選挙後の大規模な景気刺激策実施への期待、相次いで新型コロナウイルスワクチンの良好な治験結果が発表されたこと
- 2021年1月から3月、米上院でも民主党が過半数を獲得したバイデン政権による大規模経済対策への期待や良好な企業決算であったこと

(下落)

- ・2020年10月、米国の新規失業保険申請件数やドイツの景気期待指数などの予想外の悪化、欧州や米国における新型コロナウイルスの感染再拡大への懸念、米国大統領選挙を控え先行き不透明感が高まったこと

1万口当たりの費用明細

(2020年4月11日～2021年4月12日)

| 項 目 | 当 期 | | 項 目 の 概 要 |
|-----------------------|----------|------------|--|
| | 金 額 | 比 率 | |
| (a) 信託報酬 | 円 480 | % 1.880 | (a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 |
| (投信会社) | (254) | (0.995) | ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等 |
| (販売会社) | (198) | (0.774) | 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等 |
| (受託会社) | (28) | (0.111) | ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等 |
| (b) 売買委託手数料 | 8 | 0.031 | (b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| (株式) | (8) | (0.031) | |
| (c) 有価証券取引税 | 4 | 0.016 | (c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| (株式) | (4) | (0.016) | |
| (d) その他費用 | 11 | 0.042 | (d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 |
| (保管費用) | (9) | (0.037) | 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 |
| (監査費用) | (1) | (0.003) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 |
| (その他) | (1) | (0.002) | 信託事務の処理に要するその他の諸費用 |
| 合 計 | 503 | 1.969 | |
| 期中の平均基準価額は、25,547円です。 | | | |

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

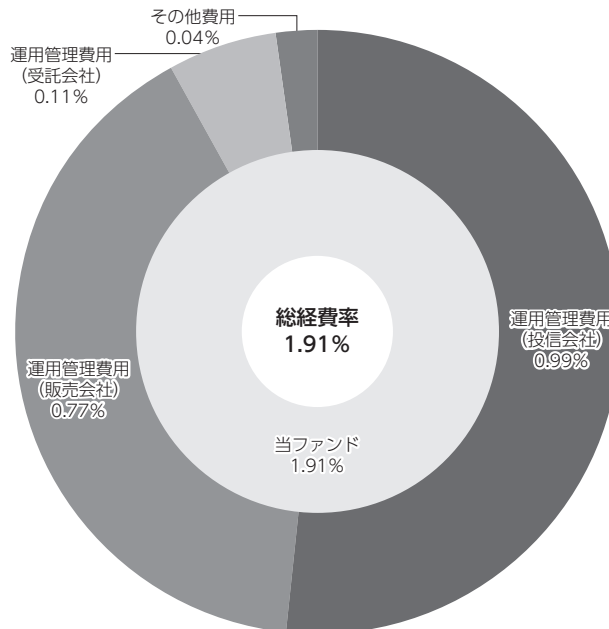
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.91%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

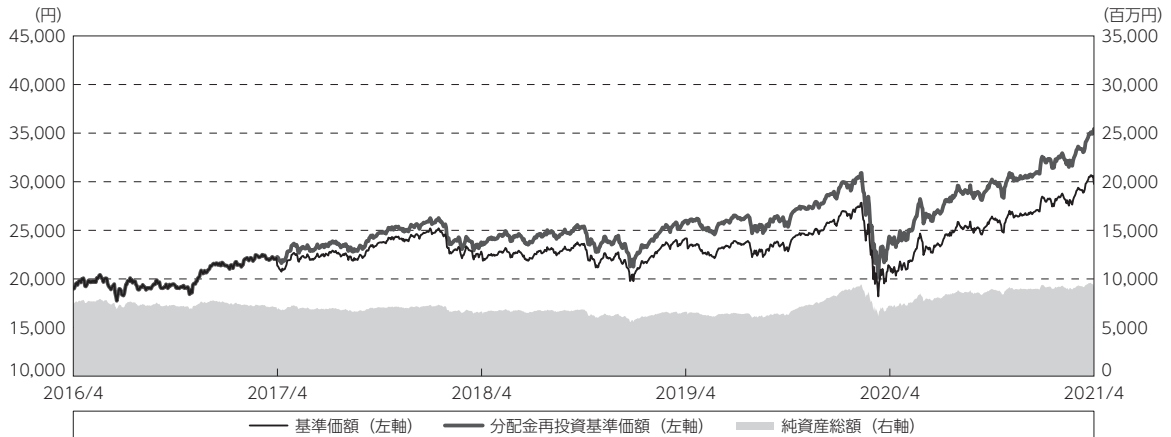
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2016年4月11日～2021年4月12日)



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。2016年4月11日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

| | 2016年4月11日 決算日 | 2017年4月10日 決算日 | 2018年4月10日 決算日 | 2019年4月10日 決算日 | 2020年4月10日 決算日 | 2021年4月12日 決算日 |
|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 基準価額 (円) | 18,981 | 21,369 | 21,869 | 23,126 | 21,293 | 29,769 |
| 期間分配金合計(税込み) (円) | — | 900 | 700 | 750 | 650 | 1,200 |
| 分配金再投資基準価額騰落率 (%) | — | 17.3 | 5.6 | 9.2 | △ 5.1 | 45.4 |
| 参考指数騰落率 (%) | — | 19.6 | 9.8 | 10.9 | △ 7.8 | 52.1 |
| 純資産総額 (百万円) | 7,314 | 6,831 | 6,397 | 6,334 | 7,190 | 9,211 |

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

*参考指数 (=MSCI ワールド インデックス フリー (円換算ベース)) は、MSCI World Index Free (現地通貨ベース) をもとに、当社が独自に円換算したものです。

*MSCI World Index Free (現地通貨ベース) は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(出所：MSCI、ブルームバーグ)

投資環境

(2020年4月11日～2021年4月12日)

世界株式市場は、新型コロナウイルスのワクチン開発および接種の開始、米国の追加経済対策への期待などを受け、期を通じて上昇しました。

為替市場は、米ドル円、ユーロ円ともに上昇（円安）しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2020年4月11日～2021年4月12日)

〔ワールド・ウォーター・ファンド Bコース〕は、主要投資対象である〔ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド〕 受益証券を高位に組み入れました。

〔ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド〕**・株式組入比率**

期を通じておおむね高位を維持しました。

・期中の主な動き

- (1) 世界の水関連企業の株式を主体に投資を行なうことを基本としました。
- (2) 銘柄選定にあたっては、上記の投資対象企業の中から、高い成長が期待される企業、または安定した収益が期待される企業の株式を、ボトムアップの観点で調査・分析し、バリュエーション（投資価値評価）を勘案して、投資銘柄を選定しました。
- (3) セクター、地域別では、
 - ① 「装置製造・エンジニアリングセクター」と「上下水道ビジネスセクター」を中心に投資しました。
 - ② 「装置製造・エンジニアリングセクター」については、バリュエーションの観点から割高な銘柄を売却した一方で、継続的な利益成長が期待できる企業に投資しました。
 - ③ 「上下水道ビジネスセクター」では、新興国に関連する銘柄の組み入れを引き下げました。
 - ④ 住居や商業施設向けにプールやスパ関連事業を手がける米国のレスリーズの株式を組み入れたほか、流体・計量技術メーカーである米国のアイデックスの株式を買い増しました。一方で、医療・エンジン用分析計測機器や半導体検査装置の製造・販売を行なう日本の堀場製作所などの株式を全売却したほか、医療・商工業関連の専門器具メーカーである米国のダナハーなどの株式を一部売却しました。

〔ワールド・ウォーター・ファンド Bコース〕**・株式組入比率**

実質株式組入比率は、期を通じておおむね高位を維持しました。

・為替ヘッジ

当ファンドの運用の基本方針に従い、為替ヘッジを行ないませんでした。

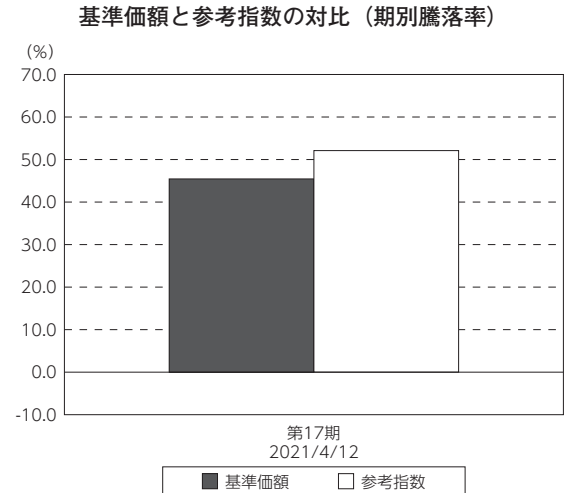
当ファンドのベンチマークとの差異

(2020年4月11日～2021年4月12日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているMSCI ワールド インデックス フリー（円換算ベース）の52.1%の上昇に対し、基準価額は45.4%の上昇となりました。当ファンドは、世界の水関連企業の株式を主体に投資を行っており、投資している業種や銘柄には特色があります。このためMSCI ワールド インデックス フリー（円換算ベース）とは異なった動きをしております。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。
 (注) 参考指数は、MSCI ワールド インデックス フリー（円換算ベース）です。

分配金

(2020年4月11日～2021年4月12日)

基準価額水準などを勘案し、Bコースで1万口当たり1,200円の収益分配を行ないました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税込み)

| 項目 | 第17期 | |
|-----------|-----------------------|--|
| | 2020年4月11日～2021年4月12日 | |
| 当期分配金 | 1,200 | |
| (対基準価額比率) | 3.875% | |
| 当期の収益 | 1,200 | |
| 当期の収益以外 | - | |
| 翌期繰越分配対象額 | 19,768 | |

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
 (注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

[ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド]

2021年の見通しについては、新型コロナワクチン接種の進展に伴う経済活動の再開期待等の高まりを受け、世界的に購買担当者景気指数（PMI）が堅調に推移するなど企業の景況感の改善が見られ、明るい見通しが広がっています。一方で、追加の経済対策や各国中央銀行による金融政策の規模や時期に関する不透明感が懸念要因になっていくと考えています。加えて、株式と債券の利回り格差が縮小するなど、力強い景気回復とインフレが示唆されており、株式のバリュエーション（投資価値評価）にも大きく影響を及ぼすであろう、米国の連邦準備制度理事会による市場支援策縮小や利上げに踏み切るタイミングを見極める必要があると考えます。

水関連インフラへの投資は必要不可欠であり、中長期的に見ると、世界的に事業展開を行なう水関連銘柄のファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）は堅調であると考えます。温暖化の影響から世界的な気候変動によって引き起こされる干ばつや洪水の問題なども、水関連インフラへの投資を呼び起こしています。中長期的に水関連銘柄は引き続き魅力的な投資対象であると考えます。

こうした環境の中、個別銘柄の選択に重点をおいた運用を継続します。足元の市場のボラティリティ（価格変動性）の高まりは個別銘柄のミスプライス（誤った値付け）をもたらし、魅力的な投資機会を与えるものと考えます。引き続き装置製造・エンジニアリングセクターと上下水道ビジネスセクターを中心としたバーベル型の運用を行なっていきます。

[ワールド・ウォーター・ファンド Bコース]

主要投資対象である [ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産については為替ヘッジを行なわない方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願いいたします。

お知らせ

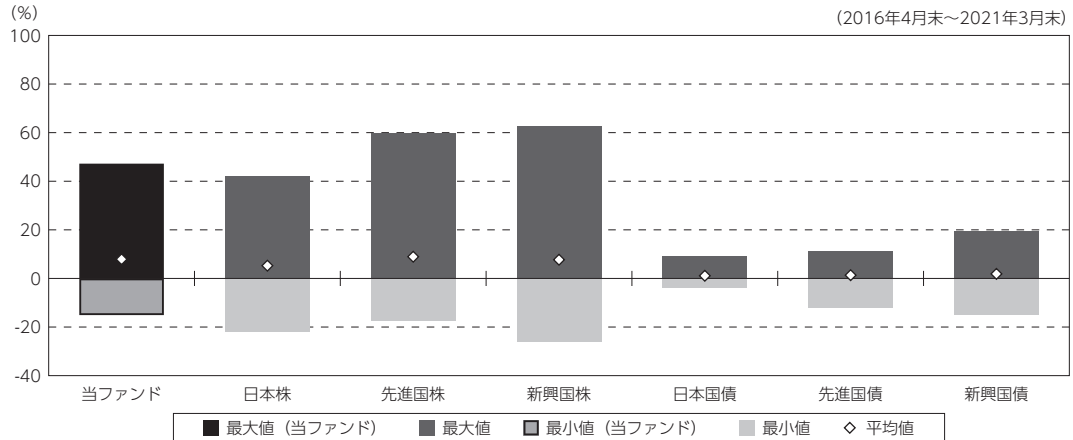
該当事項はございません。

当ファンドの概要

| | | |
|--------|--|--|
| 商品分類 | 追加型投信／内外／株式 | |
| 信託期間 | 2004年3月26日から2024年4月10日までです。 | |
| 運用方針 | <p>信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。 実質的な株式の投資にあたっては、世界の水関連企業の株式を主体に、空気関連企業の株式も加えて投資を行うことを基本とします。 銘柄選定にあたっては、これらの投資対象企業の中から、高い成長が期待される企業、または安定した収益が期待される企業の株式を、ボトムアップの観点で調査・分析し、バリュエーションを勘案して投資銘柄を選定します。 株式の実質組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。 実質組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> | |
| 主要投資対象 | ワールド・ウォーター・ファンド B コ ー ス | ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。 なお、株式等に直接投資する場合があります。 |
| | ワールド・ウォーター・ファンド マ ザ ー フ ァ ン ド | 世界の株式を主要投資対象とします。 |
| 運用方法 | ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として世界の水関連企業の株式に実質的に投資を行い、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。 | |
| 分配方針 | 毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益等から、基準価額の水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。 | |

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

| | 当ファンド | 日本株 | 先進国株 | 新興国株 | 日本国債 | 先進国債 | 新興国債 |
|-----|--------|--------|--------|--------|-------|--------|--------|
| 最大値 | 47.2 | 42.1 | 59.8 | 62.7 | 9.3 | 11.4 | 19.3 |
| 最小値 | △ 15.1 | △ 22.0 | △ 17.5 | △ 26.3 | △ 4.0 | △ 12.3 | △ 15.0 |
| 平均値 | 7.9 | 5.2 | 8.9 | 7.7 | 1.1 | 1.3 | 1.9 |

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2016年4月から2021年3月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《代表的な資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI-KOKUSAI 指数 (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

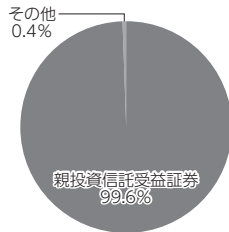
組入資産の内容

(2021年4月12日現在)

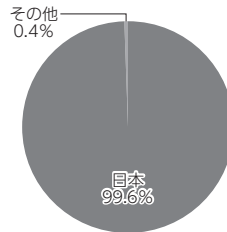
○組入上位ファンド

| 銘柄名 | 第17期末 |
|-------------------------|-------|
| ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド | 99.6% |
| 組入銘柄数 | 1銘柄 |

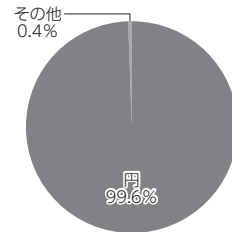
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注) 国別配分は、原則として発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等は、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

| 項目 | 第17期末 |
|------------|----------------|
| | 2021年4月12日 |
| 純資産総額 | 9,211,025,714円 |
| 受益権総口数 | 3,094,193,837口 |
| 1万口当たり基準価額 | 29,769円 |

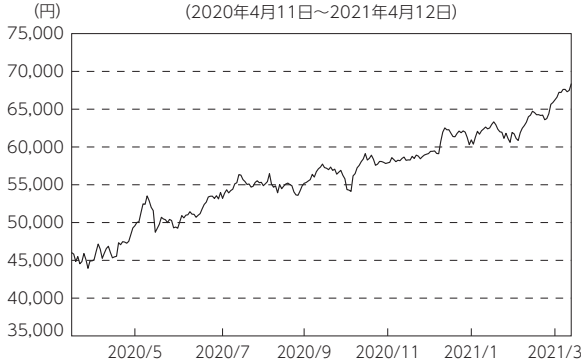
(注) 期中における追加設定元本額は286,334,029円、同解約元本額は569,069,174円です。

組入上位ファンドの概要

ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド

運用経過等に関する詳細な内容につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2020年4月11日～2021年4月12日)

| 項目 | 当期 | |
|------------------------------|-------------------|-----------------------------|
| | 金額 | 比率 |
| (a) 売買委託手数料 (株式) | 17 (17) | 0.031 (0.031) |
| (b) 有価証券取引税 (株式) | 9 (9) | 0.016 (0.016) |
| (c) その他費用 (保管費用) (その他) | 22 (21) (1) | 0.039 (0.037) (0.002) |
| 合計 | 48 | 0.086 |

期中の平均基準価額は、55,832円です。

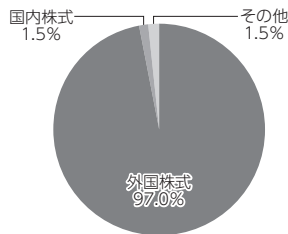
(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

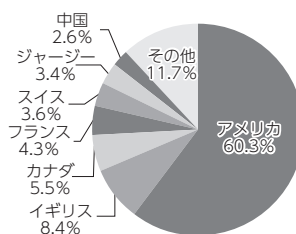
(2021年4月12日現在)

| 銘柄名 | 業種/種別等 | 通貨 | 国(地域) | 比率 |
|--------------------------------|-------------------|--------|-------|-----|
| 1 DANAMER CORP | ヘルスケア機器・用品 | 米ドル | アメリカ | 5.1 |
| 2 AMERICAN WATER WORKS CO INC | 水道 | 米ドル | アメリカ | 4.1 |
| 3 THERMO FISHER SCIENTIFIC INC | ライフサイエンス・ツール/サービス | 米ドル | アメリカ | 4.0 |
| 4 GEBERIT AG-REG | 建設関連製品 | スイスフラン | スイス | 3.6 |
| 5 FERGUSON PLC | 商社・流通業 | 英ポンド | ジャージー | 3.4 |
| 6 REPUBLIC SERVICES INC-CL A | 商業サービス・用品 | 米ドル | アメリカ | 3.4 |
| 7 IDEX CORP | 機械 | 米ドル | アメリカ | 3.3 |
| 8 XYLEM INC | 機械 | 米ドル | アメリカ | 3.3 |
| 9 VEOLIA ENVIRONNEMENT | 総合公益事業 | ユーロ | フランス | 3.2 |
| 10 WASTE CONNECTIONS INC | 商業サービス・用品 | 米ドル | カナダ | 3.1 |
| 組入銘柄数 | | 51銘柄 | | |

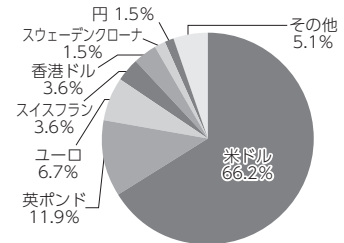
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とされない場合があります。
 (注) 国(地域)および国別配分は、原則として発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報は、運用報告書（全体版）に記載しております。
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

○東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、株式会社東京証券取引所 (㈱東京証券取引所) の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、(株)東京証券取引所が有しています。なお、本商品は、(株)東京証券取引所により提供、保証又は販売されるものではなく、(株)東京証券取引所は、ファンドの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

○MSCI-KOKUSAI 指数 (配当込み、円ベース)

○MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI-KOKUSAI 指数 (配当込み、円ベース)、MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利は MSCI に帰属します。また MSCI は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

○NOMURA-BPI 国債

NOMURA-BPI 国債の知的財産権は、野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、NOMURA-BPI 国債の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、NOMURA-BPI 国債を用いて行われる野村アセットマネジメント株式会社の事業活動、サービスに関し一切責任を負いません。

○FTSE 世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

FTSE 世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース) は、FTSE Fixed Income LLC により運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数は FTSE Fixed Income LLC の知的財産であり、指数に関するすべての権利は FTSE Fixed Income LLC が有しています。

○JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

「JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)」(ここでは「指数」とよびます) についてここに提供された情報は、指数のレベルも含め、但しそれに限定することなく、情報としてのみ使用されるものであり、金融商品の売買を勧誘、何らかの売買の公式なコンファメーション、或いは指数に関連する何らかの商品の価値や値段を決めるものでもありません。また、投資戦略や税金における会計アドバイスを法的に推奨するものでもありません。ここに含まれる市場価格、データ、その他の情報は確かなものと考えられますが、JPMorgan Chase & Co. 及びその子会社 (以下、JPM) がその完全性や正確性を保証するものではありません。含まれる情報は通知なしに変更されることがあります。過去のパフォーマンスは将来のリターンを示唆するものではありません。本資料に含まれる発行体の金融商品について、JPM やその従業員がロング・ショート両方を含めてポジションを持って、売買を行ったり、またはマーケットメイクを行ったりすることがあり、また、発行体の引受、プレースメント、エージェンシー、アドバイザー、または貸主になっている可能性もあります。

米国の J.P. Morgan Securities LLC (ここでは「JPMSLLC」と呼びます) (「指数スポンサー」) は、指数に関する証券、金融商品または取引 (ここでは「プロダクト」と呼びます) についての援助、保障または販売促進を行いません。証券或いは金融商品全般、或いは特にプロダクトへの投資の推奨について、また金融市場における投資機会を指数に連動させる或いはそれを目的とする推奨の可否について、指数スポンサーは一切の表明または保証、或いは伝達または示唆を行なうものではありません。指数スポンサーはプロダクトについての管理、マーケティング、トレーディングに関する義務または法的責任を負いません。指数は信用できると考えられる情報によって算出されていますが、その完全性や正確性、また指数に付随する情報について保証するものではありません。指数は指数スポンサーが保有する財産であり、その財産権はすべて指数スポンサーに帰属します。

JPMSLLC は NASD, NYSE, SIPC の会員です。JPMorgan は JP Morgan Chase Bank, NA, JPSI, J.P. Morgan Securities PLC., またはその関係会社が投資銀行業務を行う際に使用する名称です。

(出所：株式会社野村総合研究所、FTSE Fixed Income LLC 他)